

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人 高齢者の音楽を考える会
アドレス（HP、ツイッター、FB等）	
事業の名称	歌集「歌って元気あの歌この歌」の続編の作成
事業の目標	・ 高齢者に見やすい歌集の作成。 ・ 楽曲の著作権に配慮した活動とその啓蒙。 ・ 時代に即した歌集を作成する。
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	・ 令和7年3月末に新歌集を完成する。 ・ 既刊行の「歌って元気あの歌この歌（春夏編）（秋冬編）」は10年前に作成され、現在の85歳層が中心利用者となるため、次代の主要利用者である70～75歳層に向けた補完歌集を作成する。具体的には、1970～1990年を中心対象期間とし、代表曲の選曲を行う。 ・ 新歌集掲載曲については、著作権保護の観点から、JASRACを始めとする著作権保有団体の許可を取得する。 ・ 実行体制として、令和6年7月より、当会内部に「新歌集編集委員会」を組織し、6人のメンバーを配置する。
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	・ 「歌って元気あの歌この歌（青春編）」（令和7年3月31日刊行）。 ・ 収録曲 73曲 B5版 ・ 著作権許可 JASRAC（68曲）、NextOne、（4曲）、ヤマハ（1曲） ・ 発行部数500部。販売価格1,200円。
目標の達成度 （自己評価）	☒ 1. 達成できた ☐ 2. ある程度達成できた ☐ 3. あまり達成できなかった ☐ 4. 達成できなかった

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	・高齢者施設利用者を始めとする高齢者の多様な趣向に対応できる幅広い選曲ができた。 ・高齢者向の特有性に配慮し、大型フォント（18 ポイント）を基調とするとともに、小学校 4 年生以上の漢字および英文にはルビを付加した。 ・全曲の著作権許諾を得た。 ・製本、印刷は、経費および時間の節減のため、ウェブ印刷を利用した。 ・補助金でカバーできない資金は、自己資金にて対応した。
今後の課題・抱負	・当会の活動施設等での積極的活用を図りたい。 ・当会以外の団体、個人等にも活用できるよう、周知を図りたい。
活動状況について	
・新歌集選曲の中心対象である 70 年代以降は、音楽のジャンル、鑑賞方法、個人の趣向が急速に多様化し、70 曲程度の収録目標への絞り込みは難航したが、幅広い世代、多様な経験の委員で議論し、バランスの良い選曲ができた。 ・新歌集の構成、作画、印刷については、既刊行歌集担当の専門家の委員会参加を求め、既刊行とのシリーズ感を担保するとともに、編集過程の議論も踏まえた全体構成へとつなぐ事ができた。 ・著作権の許可は、保有団体の申請事務が煩雑で、時間的制約もあったが、人海的作業にて乗り切り、期限内に許可を取得できた。 ・作成負荷：ウェブベースの情報・意見交換多数⇒全体ミーティング 6 回 会員全体への意見聴取 1 回	